

●表2 松尾地区地域審議会委員

選出区分	職 名	氏 名	役職	備考
公共的団体 役職員	八幡平市農業委員会委員	高橋金悦(野駄)		新任
	八幡平市教育振興運動推進協議会常任委員	高橋勝博(松尾寄木)		再任
	新岩手農業協同組合理事	立柳秀範(野駄)		再任
	八幡平市商工会理事	古川勝雄(松尾)		新任
	八幡平市社会福祉協議会理事	松尾幸雄(松尾)	会長	新任
	八幡平市観光協会監事	勝又弘子(松尾寄木)		再任
	八幡平市芸術文化協会理事(事務局長)	伊藤政子(松尾寄木)		再任
	J A新しいわて女性部松尾中央支部副部長	高橋キヌ子(松尾)		再任
	八幡平市婦人会連絡協議会監事	田村キノエ(松尾)		新任
学識経験者	八幡平市P T A連絡協議会理事	吉田香(松尾寄木)		再任
		長坂祐一(松尾)		新任
		伊藤盛(松尾寄木)		新任
		道尻和彦(柏台)	副会長	再任
公募委員		高橋光広(野駄)		新任
		附田政登(松尾寄木)		新任

●表3 安代地区地域審議会委員

選出区分	職 名	氏 名	役職	備考
公共的団体 役職員	新岩手農業協同組合理事	畠山正徳(打田内)	副会長	再任
	浄安森林組合理事	畠山耕輝(打田内)		新任
	八幡平市商工会副会長	橋本雅彦(荒屋新町)		再任
	八幡平市社会福祉協議会評議員	三浦侃(下モ川原)		再任
	安代未来を拓く女性会議事務局	佐藤ひとみ(中佐井)		再任
	安代未来を拓く女性会議副議長	大森やえ(呟田)		新任
	安代未来を拓く女性会議	宮野千栄(荒屋新町)		新任
	八幡平市農業青年クラブ理事	工藤佳輝(谷地中)		再任
	八幡平市教育振興運動推進協議会副会長	馬場リチ子(清水)		新任
学識経験者		立花徳彦(細野)		再任
		小山田洋子(上の山)		新任
		関本研子(沖ノ平)		新任
		中川原繁(荒屋新町)	会長	再任
公募委員		斎藤守男(扇畑)		新任
		八幡勢子(大面平)		再任

長と公募委員2人を含む委員13人で、7人の新人委員が参加しています。

それぞれの地域の声を市政に反映する地域審議会

市町村合併により面積が広くなり「住民と行政の距離が遠くなる」「地域の意見が市の施策に反映されにくくなる」といった心配・懸念があると考えられます。そうした心配に応える

ため、合併後の市町村長の諮問に対して意見を述べる事ができる機関として、地域審議会を設置することができ

八幡平市の合併に向けた協議において「地域住民の声を施策に反映させた行政サービスを実現させるため、合併以前の3町村の区域ごとに地域審議会を設置する」ことを定め、3町村の議会において議決しました。これに

基づいて、3地区に地域審議会を設置。市民の皆さんの声を施策に反映させ、きめ細やかな行政サービスを行うため、各地区の実情に応じた施策の展開に対する意見などをうかがいます。

さまざまな意見を反映してより良い市政に

地域審議会は、市の機関の一つとして、新市建設計画の変更や、それぞれ

の地域に関わる課題などについて審議するという重要な役割を担っています。今後は、各地域振興協議会との交流などを通じてさまざまな意見をうかがい、より良いまちづくりに活かしていきます。

地域審議会について詳しくは、市企画総務部地域振興課(☎76-2111・内線1123)、または各総合支所地域振興課まで。



市民の声を市政に活かす地域審議会

●表1 西根地区地域審議会委員

選出区分	職 名	氏 名	役職	備考
公共的団体 役職員	八幡平市農業委員会会長	佐々木正義(平館)		再任
	八幡平市教育委員会教育委員長職務代理者	伊藤政行(平笠)		新任
	新岩手農業協同組合理事	高橋多美雄(平笠)		再任
	八幡平市商工会理事	田村俊郎(西根寺田)		再任
	八幡平市観光協会副会長	高橋時夫(田頭)		再任
	八幡平市企業懇談会会長	遠藤良三(西根寺田)	副会長	再任
	八幡平市社会福祉協議会評議員	田村明雄(大更)		新任
	八幡平市西根地区婦人会連絡協議会副会長	遠藤ヒサ(田頭)		再任
	J A新しいわて女性部西根中央支部長	遠藤美津枝(平館)		新任
学識経験者	八幡平市P T A連絡協議会理事	菊田健生(大更)		再任
		瀬川愛子(大更)	会長	再任
		千葉孝志(大更)		新任
公募委員		沢口進(平笠)		新任
		最上雄吾(平館)		新任
		野中邦仁(大更)		新任

3地区の地域審議会委員が委嘱されました

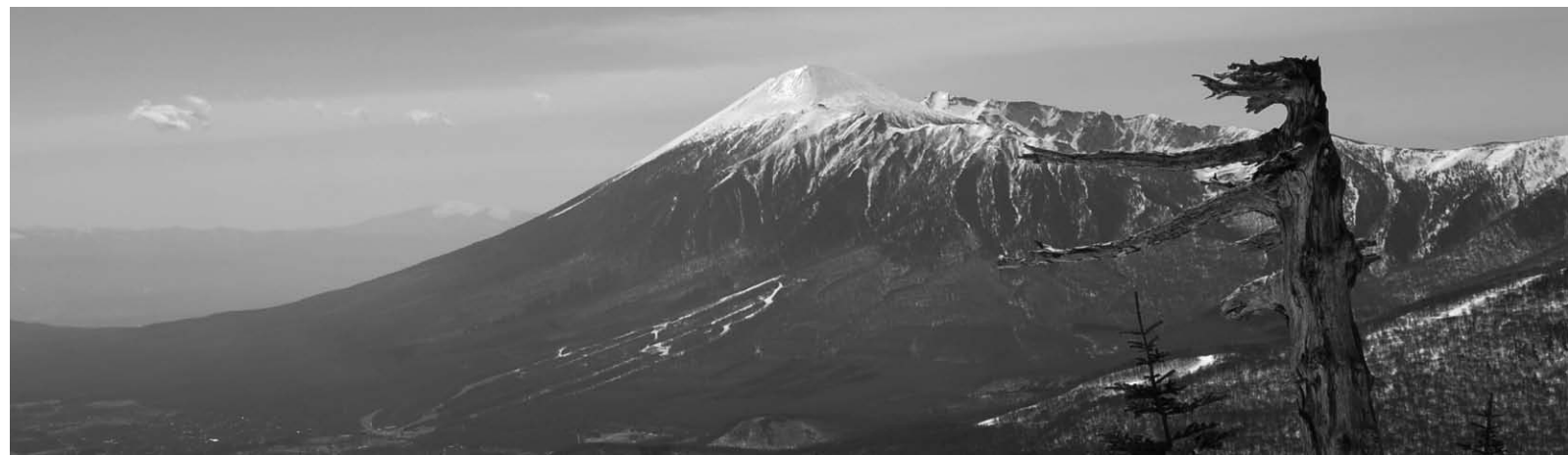
合併前の旧町村を単位として設置されている地域審議会の委員の改選が行われ、表1、3のとおり変わりました。任期はいずれも21年の12月から23年の12月までです。

地域審議会は、各地区ともに委員15人で構成。西根地区地域審議会は、表

1に掲げたとおり、瀬川愛子会長、遠藤良三副会長と公募3人を含む委員13人。このうち、新任は7人です。

松尾地区地域審議会は、表2のとおり、松尾幸雄会長、道尻和彦副会長と公募1人を含む委員13人。このうち、8人が今回新たに委嘱された委員です。

安代地区地域審議会は、表3のとおりです。中川原繁会長、畠山正徳副会



盛岡北部行政事務組合 平成20年度介護保険特別会計決算

歳出46億713万円を認定

介護が必要なお年寄りなどを社会全体で支える介護保険制度は、盛岡北部行政事務組合が3市町(八幡平市、葛巻町、岩手町)共同で運営しています。同組合の議会が10月19日に開催され、20年度の介護保険特別会計の決算が認定されました。

20年度の歳入は46億7,539万円でした。歳入のトップは支払基金交付金の13億1,730万円で、全体の28.2%を占めています。65歳以上の人が納めた保険料は7億4,617万円(15.9%)となりました。歳入の内訳は、グラフ1をご覧ください。

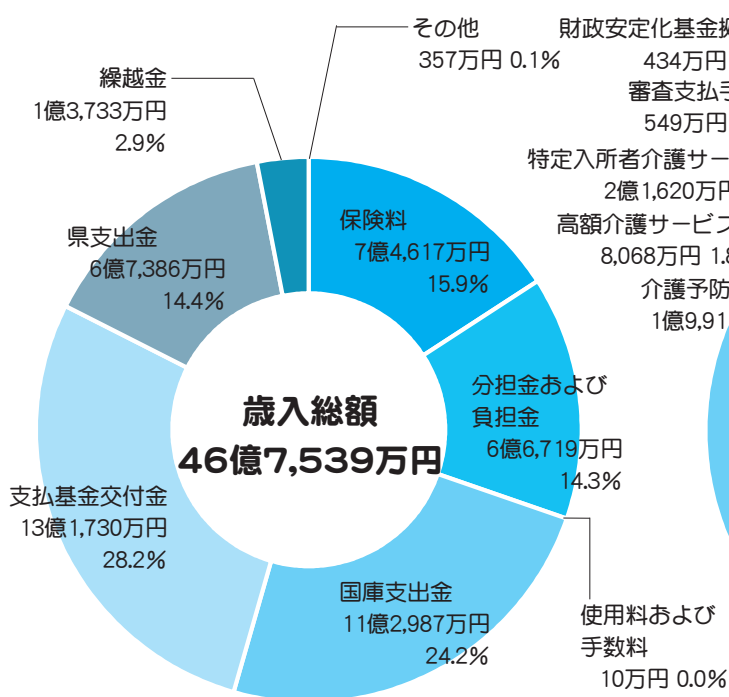
歳出の総額は46億713万円でした。このうち、居宅

介護サービス費(30.4%)、施設介護サービス費(49.7%)、介護予防サービス費(4.3%)、高額介護サービス費(1.3%)、特定入所者介護サービス費(4.7%)、審査支払手数料(0.1%)を合わせた「保険給付費」が全体の91.0%を占め、41億9,455万円となりました。歳出の内訳は、グラフ2のとおりです。

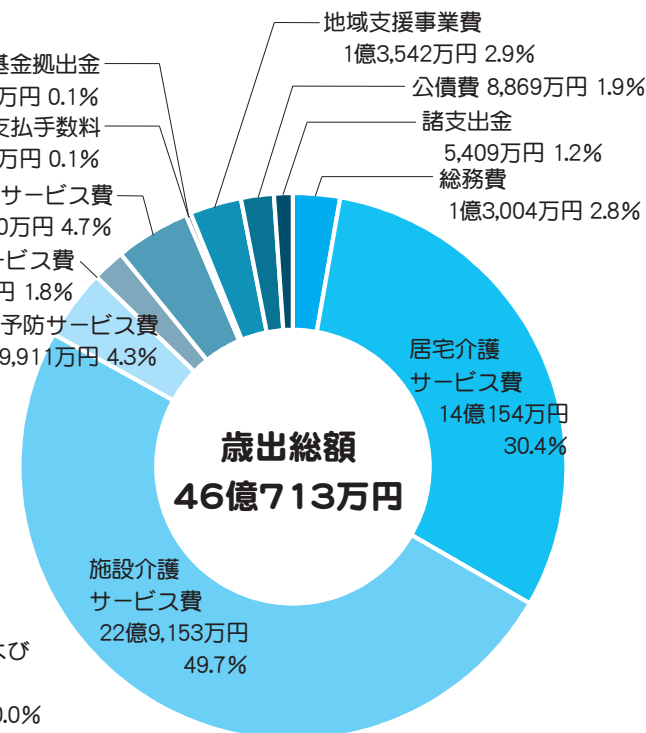
また、盛岡北部行政事務組合管内の要介護・支援認定者数など、介護保険事業の概要は表1のとおりです。

介護の相談などは、市福祉部長寿社会課(☎76-2111、内線1184~1186)または盛岡北部行政事務組合(☎74-2716)まで。

■グラフ1 歳入の内訳



■グラフ2 歳出の内訳



■表1 平成20年度介護保険事業の概要(21年3月末現在)

(単位:人)

市町名	高齢者数	要介護・支援認定者数								サービス利用者数				サービス費用(給付費)
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	居宅介護	地域密着	施設介護	合計	
八幡平市	9255	139	176	221	350	262	194	262	1604	809	33	429	1271	23億4201万円
葛巻町	2855	52	79	91	109	73	80	64	548	296	2	116	414	6億6739万円
岩手町	4866	48	83	138	170	128	121	124	812	421	42	209	672	11億8514万円
組合合計	16976	239	338	450	629	463	395	450	2964	1526	77	754	2357	41億9455万円

※高齢者は65歳以上を表します



両日開催のイベント

ふれあい雪上ドッグランド(問い合わせ先:ドッグファームSHINYA ☎019-654-3326)、雪像コンテスト(参加料2千円)、七滝観賞雪上トレッキング(参加料2千円)、雪上運動会(参加料1種目1千円)、豚汁無料振る舞い(20日・午後3時~、21日・午前11時半~、各限定200食)、スノーランド(雪の滑り台、アニメ雪像、スノーモビル・バナナボートなど、数量限定無料貸し借り)、屋台コーナー



冬の八幡平市最大のイベント「2010八幡平ゆきまつり」を開催します。今回から、さくら公園イベント広場に主会場を変更。恒例となった雪上運動会や七滝観賞トレッキングなどの体験イベントや打ち上げ花火、子どもたちにも人気の「トミカヒーローレスキューファイアー」「ドラゴンボール改」のキャラクターショーなど盛りだくさんのお楽しみを用意して、皆様のご来場をお待ちしています。イベントへの参加申し込みなど詳しくは、八幡平市観光協会(☎78-3500)まで。

2月20日(土)のイベント・正午~午後5時

八幡平エリア樹氷ツアー(参加料5千円)、「トミカヒーローレスキューファイアー」ショー(午後2時~、4時~)、花火(午後6時半~、八幡平リゾートパノラマスキー場)



2月21日(日)のイベント・午前10時~午後4時

「ドラゴンボール改」ショー(午前10時半~、午後2時半~)、大抽選会(午後3時~、抽選券は午後0時半から配布)



2010 八幡平 ゆきまつり

2月20日(土)・21日(日)
さくら公園イベント広場



冬の八幡平を家族みんなで楽しもう

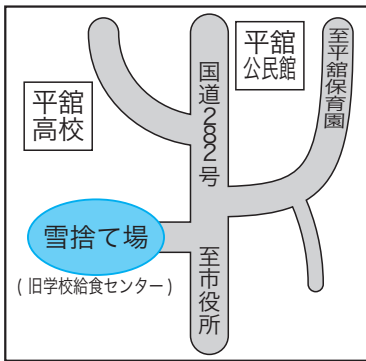
除雪した雪の処分に

市の雪捨て場を開放しています

市は、自宅周辺を除雪した雪の処理で困っている人のため、西根地区と松尾地区にそれぞれ市指定の雪捨て場を次のとおり用意しています。

【西根地区】

■雪捨て場の場所 旧学校給食センター跡地(平館地区大久保)



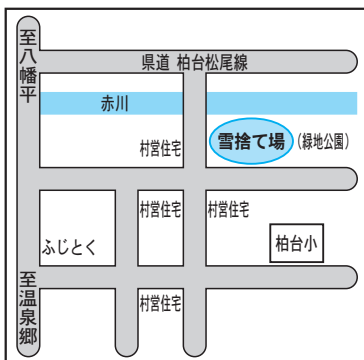
■利用期間 3月31日(水)までの午前9時から午後4時まで

■搬入車両 積載量5ト未満の車両で、チェーンなど滑り止めを準備してください。

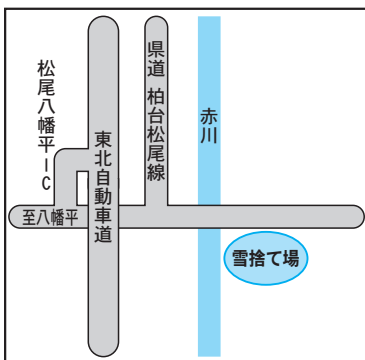
【松尾地区】

■雪捨て場の場所

① 柏台二丁目緑地公園



② 市道前森線敷地の赤川橋付近



■利用時間 午前8時半から午後5時まで

■利用方法 市内に住宅を持つ人で、雪の捨て場に困っている人であれば、誰でも利用できます。

除雪にご協力を

▼玄関先の除雪は各家庭で 除雪作業は、大型の機械で行っているため、玄関先などに雪が残る場合があります。そうした雪は各家庭での除雪に協力をお願いします。

▼道路へ雪を出さないで

道路へ雪を出すと、路面が凍結して非常に危険です。事故の原因にもなりますので、ご協力をお願いします。また、屋根から市道などへの落雪は、通行車両や通行人に被害を及ぼす重大な事故につながりかねません。建物所有者は、雪止めを設置するなど安全対策をお願いします。

▼除雪車にご注意を

除雪作業は安全第一で行っていますが、作業中の除雪車に近付くことは危険です。作業の際に、センターラインを越えて行う場合もありますので、ご注意ください。

詳しくは、市建設部建設課 (☎74-2111、内線2512・2515) まで。

放課後児童クラブへの入会申請を受付開始

放課後児童クラブへの入会は、入会申請先に直接 付けをしています。

申し込みください。受付期間は、杉の子ホームを除 詳しくは、市福祉部児童福祉課 (☎76-2111、内線 3月5日(金)までです。杉の子ホームでは随時受け 1177、1172) まで

	クラブ名称	事業実施施設名称	連絡先☎	入会申請先
1	杉の子ホーム	杉の子ホーム	76-3345(杉の子保育園)	杉の子保育園
2	大更学童保育クラブ	大更学童保育クラブ	090-7527-8647	市福祉部児童福祉課 (☎76-2111、内線 1177、1172) または各実施設
3	大更第二学童保育クラブ		080-6025-8705	
4	東大更学童保育クラブ	東大更小学校	090-7561-8890	
5	渋川学童保育クラブ	渋川小学校	080-6024-8705	
6	田頭学童保育クラブ	館腰公民館	090-6255-6867	
7	平笠学童保育クラブ	平笠小学校	080-7527-8706	各実施設
8	平館学童保育クラブ	平館小学校	080-5567-4011	
9	寺田学童保育クラブ	J A寺田(営農センター)	77-1133	
10	あしる学童クラブ	あしる学童クラブ	72-2644	
11	田山学童クラブ	田山小学校	080-5575-0383	
12	松野児童育成クラブ	松野児童館	74-4071	各実施設
13	寄木児童育成クラブ	寄木児童館	76-2171	
14	柏台児童育成クラブ	柏台児童館	78-3153	

メタボリックシンドローム予防ポスターコンクール

大更小学校の児童が銀賞・銅賞に入選する



入選した田村花のんさん、伊藤耕多君、沢口奈那さんの3人

メタボリックシンドローム予防ポスターコンクールが行われ、大更小学校(三上聡校長)児童403人の伊藤耕多君(2年)が銀賞に、田村花のんさん(2年)、沢口奈那さん(2年)が銅賞にそれぞれ入選しました。

入選した沢口奈那さんは「賞をもらえるとは思っていませんでしたので、とても驚いた。お父さんにすごいぞって言ってもらえてうれしかったです」と喜びの声を聞かせてくれました。

3人の作品は、ほかの入選者の作品と共にカレンダーに掲載され、県内の歯科診療所や盛岡教育事務所管内の学校施設などに配布されています。

カレンダー(左の写真)掲載されているポスターは、伊藤耕多君の作品(の在庫が10部ほど市役所にありますので、希望する人は、市企画総務部総務課広報統計係(☎76-1211、内線1218)まで問い合わせください。

花巻市青少年郷土芸能フェスティバル わらしえんど KAGURAフェスティバル

浅沢子供神楽会が伝統の神楽を披露する



↑浅沢子供神楽会の会員の中から選ばれた、小学4年生から6年生までの9人が伝統の浅沢神楽を披露しました。



浅沢子供神楽会(北口明会長)は21年12月20日、花巻市民文化会館で開催された花巻市青少年郷土芸能フェスティバル2009「わらしえんど・KAGURAフェスティバル」に県北を代表して招待され、市指定無形民俗文化財である浅沢神楽の演目の一つ「虎の口」を披露しました。

参加した石田航大君(安代小6年)は「初めての大会で緊張したけど、今までの練習の成果を披露することができたので良かった。これからも浅沢神楽を続けていきたいです」と笑顔で感想を聞かせてくれました。

チームの強化に向け協定を締結する



握手を交わす高橋代表(右)と堀井代表

市に本拠を置くサッカーの社会人クラブチーム、アンソメット岩手八幡平(代表・高橋義利)といこの村岩手社長は21年12月25日、所属選手の強化を目的に東北社会人リーグ1部のFC秋田カンピアーレ(堀井郁夫代表)と業務協定を締結しました。

協定の内容は、アンソメット岩手八幡平の所属選手をFC秋田カンピアーレに登録し、東北社会人リーグでの試合を経験させ、さらなるチーム力の向上を狙うことなどです。

高橋代表は「連携することは、両チームにとって必ずプラスになる」と期待を寄せました。